

2009年活動報告

Hondaは、お客様に製品をお渡するだけでなく、安全も一緒にお渡する「社会的責任として行う企業活動」として、1970年から安全運転普及活動を展開している。
2009年は「地域に根ざした活動の充実」「Hondaらしい先進性・独自性のある活動の展開」を重点テーマに取り組んだ。

2009年の重点テーマ

1 地域に根ざした活動の充実

交通安全を学ぶ場と機会を全国に広げるための活動拠点として、昨年4月に熊本製作所に設置した「地区普及ブロック」を栃木、埼玉、浜松、鈴鹿の各製作所に設置。地区普及ブロックには専任のインストラクターを配置し、地域での活動を主導する指導者の育成および参加体験型実践教育の場と機会の提供を最重要課題として、地域の方々が交通安全を学ぶことができる体制を整えた。さらに



地区普及ブロックによる「親子交通安全教室」

2 先進性・独自性のある活動の展開

地域の自動車教習所、自治体、団体、警察などと連携しながら、地域社会と一体となって交通安全教育を普及するための基盤づくりを進めている。特に自動車教習所との連携を積極的に進め、提携教習所は昨年の13校から今年は31校へと拡大した。

これまで二輪車・四輪車における「運転技術の向上」と「危険を安全に体験する」ことを目的に革新的な開発を実現してきたホンダのシミュレーターに、「ホンダセーフティナビ」と「ホンダ自転車シミュレーター」が新しく加わった。今年5月に発売した場所を選ばずエコドライブと安全運転を学べる「ホンダセーフティ



四輪販売会社でお客様への店頭指導に活用されている「Hondaセーフティナビ」



来年3月にフルモデルチェンジが予定されている「Hondaドライビングシミュレーター」(写真は試作機)

安全運転教育用「Honda自転車シミュレーター」を発売

「Honda自転車シミュレーター」は、自転車を運転する際に起こりうる危険を安全に体験することで、危険予測能力や安全意識の向上をはかり、体験後の解説等により交通ルールとマナーを楽しく学ぶことができる。主に小中学生や高齢者向けに自転車教育を実施している官公庁や警察関係機関、教習所、学校等への普及を目指す。

< Honda自転車シミュレーターの特長 >

ハードウェア

- コンパクト設計 (全長2270mm×高さ1400mm×幅990mm、重量88kg)
- 左右確認用画面と後方確認用モニターを搭載
- 自転車を押して歩く動作に対応する「歩行センサー」を搭載

ソフトウェア

- 各年代に合わせたソフトを用意し、「学校へ行く」「スーパーへ買い物に行く」「塾へ行く」「商店街へ行く」等、コースを選んで危険を体験することが可能
- 混合交通の走行における法規やマナーを学ぶコースを用意
- 体験後、上下左右さまざまな視点からの走行軌跡を再生し、運転状況と評価を画面に表示



※全国メーカー希望小売価格 73万2900円 (消費税・搬送費込み)

※詳しくは安全運転普及本部教育機器課へ。
TEL 048-452-0559

<http://www.honda.co.jp/simulator/bicycle/>

「運転技術の向上」と「危険を安全に体験する」ことを目的に革新的な開発を実現してきたホンダのシミュレーターに、「ホンダセーフティナビ」と「ホンダ自転車シミュレーター」が新しく加わった。今年5月に発売した場所を選ばずエコドライブと安全運転を学べる「ホンダセーフティナビ」は、販売会社などで多くの方々に利用されている。「ホンダ自転車シミュレーター」は、2007年より学生や高齢者の方の交通安全教育の場で試験的に運用していたが、来年2月より発売する(コラム左参照)。

また、来年3月には「ホンダドライビングシミュレーター」のフルモデルチェンジを予定している。これに先駆けて11月6日、九段会館(東京都千代田区)で開催された第42回指定自動車教習所全国大会(主催：(社)全日本指定自動車教習所協会連合会)で試作機を展示。来場した教習所関係者の注目を集めた。新型では、より鮮明な液晶モニターを採用し、より実車に近い乗車感覚を再現して、危険を安全に体験できる教育機器として「使いやすさ」と「教えやすさ」を向上させた。

ライフステージに対応した交通安全教育を展開

親子で学べる機会の増加

親子で楽しく交通安全を学べる「親子交通安全教室」や「親子でバイクを楽しむ会」の開催、「キッズデザイン博」での交通安全ワークショップの開催など、子どもと一緒に保護者の方も学んでいただける場の提供に取り組んだ。

また、今年は教育現場でより手軽に活用できるように、12時間分の授業内容の重要なポイントを1時間にまとめた小学3・4年生向けの「あやとり」のダイジェスト版を作成した。

ルンやマナーの大切さを伝える「親子でバイクを楽しむ会」



8月に開催された「キッズデザイン博」の交通安全ワークショップでは来場した多くの子どもたちに交通安全啓発を行った



学生向け運転者教育の拡充

自転車事故の多い年齢である中学生・高校生を対象とした「自転車安全運転教室」・通学等で二輪車を使用する高校生や大学生を対象とした「二輪車安全教室」(8面参照)など、参加体験型の実践教育プログラムを中心に取り組んだ。また、「ホンダ自転車シミュレーター」を活用した新しい形の集合教育も行っている。



「Honda自転車シミュレーター」を活用した中学生・高校生向けの集合教育

エコドライブを通じた安全運転の普及

ドライバー向けには、燃費向上を実現するエコドライブと安全運転を両立した「エコ&セーフティドライブ」を推進し、「ホンダセーフティナビ」を使用した四輪販売会社でのエコドライブアドバイスが始まるなど、社会のニーズに応えながら、「手渡しの安全」をお届けする活動にも取り組んだ。交通安全センターにおいても、企業のお客様のニーズに合わせて各種安全運転やエコドライブに関する研修プログラムをオーダーメイドで作成して実施するなど、お客様視点に立った、より効果的な活動を行った。

指導者育成の充実と拡大

今年の重点テーマである「地域に根ざした活動の充実」の実践に向け設置した地区普及ブロックでは、地域における指導者育成についても様々な活動を行っている。地域の指導者が増えることにより、今後はその方々を中心として、子どもや高齢者の方に向けた交通安全教育の機会も増えていくことが期待される。地域の指導者による継続的な活動と定着が今後の課題であり、継続的なサポートを展開していく。

高齢者に向けた教育プログラムの運用

高齢者の方々に、いつまでもいきいきと交通社会に参加し続けていただくために、ホンダでは自分の行動の問題点に対する「気づき」を促す教育を推進している。その一つが、加齢にもなう身体機能の変化について認識していただくことを目的として、交通安全センターで開催している「ホンダ健康ドライブスクール」である。このカリキュラムは今年、栃木県の高齢運転者研修「しあわせ高齢ドライバースクール」に採用された。また、同じく高齢ドライバーに向けた交通安全教育プログラムである(社)日本自動車工業会の「いきいき運転講座」の普及活動にも取り組んだ。



アクティブセーフティトレーニングパークもついで開催している栃木県の「しあわせ高齢ドライバースクール」



地区普及ブロックでは「いきいき運転講座」(3面参照)の普及を通じて、地域に交通安全リーダーを育成している



企業ドライバーを対象に交通安全センターで展開されている「セーフティ&エコドライブ研修」

来年、安全運転普及本部は誕生から40周年を迎える。さらに複雑化、多様化する交通社会において、これまで培ったノウハウや経験を最大限に活かして、さまざまな展開を行っていく考えだ。